

広域圏だより

施設見学を
再開しました



各消防署



ごみ処理施設



馬越浄水場

見学にあたってのお願い (事前予約必要)

- 見学希望の方は、日時や見学内容の詳細について事前に各施設に問合せください。
- 見学時にはマスクを着用し、手指消毒のご協力をお願いします。
- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の症状がある方や、発熱や咳などの風邪の症状が続く方の見学はご遠慮願います。
- 圏域内の感染状況によっては、一旦お受けした見学をお断りさせていただく場合がありますので、ご了承ください。

◆見学申込連絡先 指令センター及び見学希望の各消防署（見学希望先へ問合せください）
（ホームページ参照）

ごみ処理施設（環境センター・管理係）：0242-27-9004

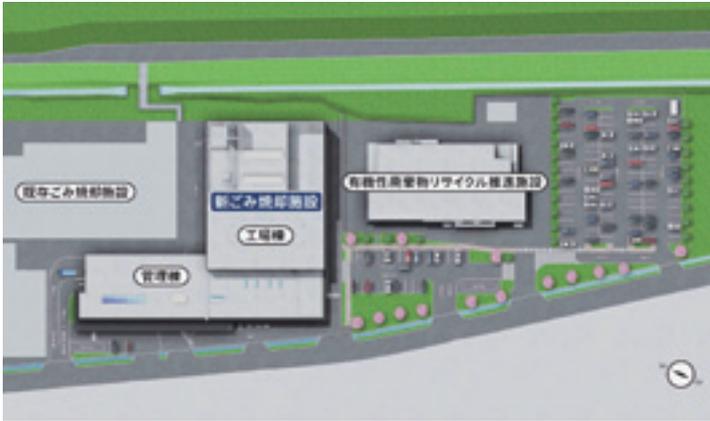
馬越浄水場（用水供給課・管理係）：0242-56-4192

ホームページ：<https://www.aizu-kouiki.jp>

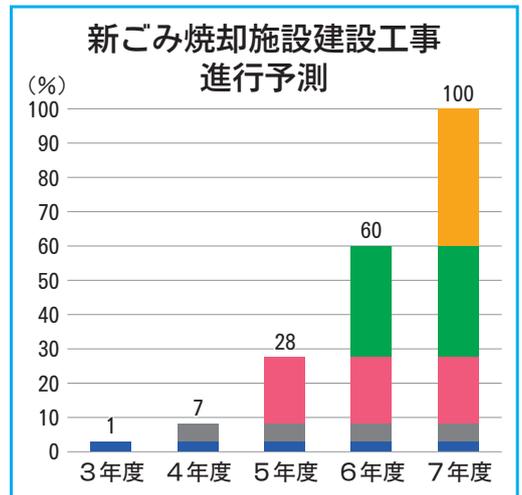


新ごみ焼却施設建設工事の進捗状況について

令和4年10月から建設工事に着手し、ごみピット（深さ約10m）部分等の掘削工事や一部基礎工事を進めてきました。現在、掘削工事が完了し、残りの基礎工事及び躯体工事を進めております。令和8年3月完成に向け、鋭意施工中です。



令和7年度	外構工築炉工事、受電・計装設備工事等
令和6年度	機器搬入、据付工事、配管工事、 躯体工事（プラットフォーム・管理棟） 内装工事、機械工事、電気設備工事
令和5年度	基礎・鉄筋工事、コンクリート工事、 鉄骨建て方、躯体工事（ごみピット）
令和4年度	解体工事（旧し尿施設）、掘削工事
令和3年度	解体工事準備（旧し尿施設）、仮設工事



完成イメージ

- ◆ 完成予定時期
令和8年3月
- ◆ 契約額
180億1,580万円
- ◆ 処理能力
196 t/日

～馬越浄水場～

安全安心な水道水を安定して供給するために

「水道事業の技術的な連携に関する基本協定」の締結

◇水道事業の基盤強化

水道事業に係る技術的業務の連携を強化し、同一流域内の水道事業を将来にわたって持続的かつ円滑に運営することを目的に、令和5年2月20日に、会津若松市・会津坂下町・会津美里町と基本協定を締結しました。

共同発注によるスケールメリットの発揮、技術支援による人材育成、情報共有による緊急時対応などに、連携して取り組んでまいります。



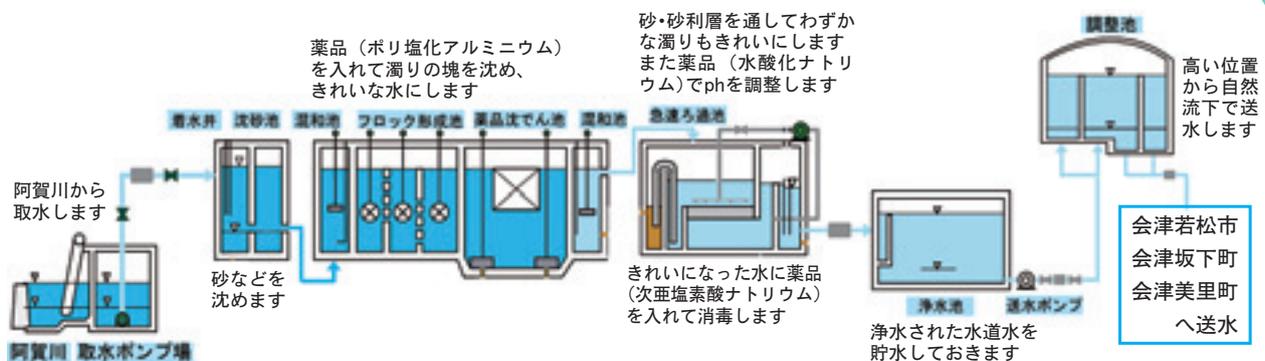
水道施設について

用水供給課（馬越浄水場）では、会津若松市（一部）・会津坂下町・会津美里町（一部）の3市町に、安全安心な水道水を1日平均約14,200m³（25mプール40個分）供給しています。

※平成2年供用開始
処理能力 1日最大25,600m³
処理方法 急速ろ過方式



◇水道水ができるまで◇



◇水質検査の実施

水道法に基づく51項目の水質検査を定期的実施し、安全で安心な水道水を提供しています。水質管理計画及び水質検査結果など、詳しくは組合ホームページに掲載し公表していますのでご覧ください。（ホームページ <https://www.aizu-kouiki.jp>）

消防本部より住宅用火災警報器に関するお知らせ

●住宅用火災警報器の交換はお済みですか？

住宅用火災警報器は平成23年6月1日にすべての住宅に義務付けになり（新築住宅は平成18年から義務付け）、10年以上が経過しています。住宅用火災警報器の交換の目安は10年とされているため、設置から10年以上経過している場合は交換しましょう。設置年数が不明の場合は、警報器の製造年を確認しましょう。



●定期的に住宅用火災警報器の点検をしましょう。

点検方法は、警報器のボタンを押すか、ひもを引くことで点検できます。正常な場合は、正常を知らせるメッセージや音が鳴ります。

環境センターより

～ごみ減量のお願い～

令和2年3月に策定した『ごみ減量実施計画』では、令和4年度の構成市町村からのごみ排出量目標は64,696 tでしたが、結果は67,654 tでした。（令和7年度58,328 tが目標 ※注）

※注：この目標の重量は、圏域10市町村の目標の集計です。ごみの減量は、お住いの市町村の目標に合わせて取り組んでください。

令和7年度までに1人1日あたりの排出量約130gの減が目標です！



ごみの排出量は減ってきていますが、さらに減量を進めるには、とくに次の2つのご協力をお願いします。

130gはどのくらい？

コンビニおにぎり1個
約120g
バナナ1本・文庫本1冊
約100g～150g



○紙類の分別の徹底

燃やせるごみとして出されているものの中には、リサイクル可能な紙類（段ボール、新聞紙、チラシなど）が多く混入しています。

**混ぜればごみ、
分ければ資源！**



○生ごみの水切りの徹底

ごみの減量を進めるには、「生ごみ」の減量が必要です。「生ごみ」の約80%は水分と言われていることから「水切りの徹底」が有効です。

出す前にギュッとひと絞り！

